



クイズの正解と解説

いかがでしたでしょうか。250名中、全問正解者はなんと2名！○×は難しかったですか。
このクイズは、ご参加の皆様の「歯の健康」知識を得る機会になっていること間違いなしです。
またクイズイベントをしますので、奮ってご参加ください。

Q1 歯には血管がとどっている	【正解(正解率)】 ○ 52.0%	【解説】 歯や歯を支える歯ぐきにも栄養が必要なので、歯の中心部分の髄髄という部分に血管と神経が通っています。
Q2 口の中のバイ菌は体の中で一番多い	【正解(正解率)】 ○ 99.6%	【解説】 口の中には、ミュータンス菌(むし菌)をはじめ350種類のバイ菌がいます。体の中でバイ菌の種類も数も一番多い場所が口の中です。
Q3 生まれたばかりの赤ちゃんには、むし菌の原因になる菌がない	【正解(正解率)】 ○ 89.6%	【解説】 生まれたばかりの赤ちゃんには、むし菌は全くと言ってよいほどいないのです。では、むし菌はどこからやってくるのでしょうか？実はお母さんなど親の口からうつる場合がほとんどです。赤ちゃんの歯の健康のためにも、周りの人がむし菌を治療し、口の中のむし菌の数をできるだけ少なくすることが大切です。
Q4 唾液は、虫歯にならないために大切である	【正解(正解率)】 ○ 99.6%	【解説】 唾液は、虫歯に対する抵抗力の中で大きな力となります。またその量が多ければさらに大きな予防効果があります。
Q5 歯の表面は鉄より硬い	【正解(正解率)】 ○ 45.2%	【解説】 歯の表面のエナメル質は、鉄より硬く、水晶と同じくらいの硬さです。
Q6 毎日歯みがきを一生懸命していれば、むし菌はできない	【正解(正解率)】 × 85.2%	【解説】 むし菌は一つの原因だけでできるものではありません。毎日歯みがきをしていても、甘いおやつを1日中食べたり飲んだりしていれば、むし菌になってしまいます。正しい歯みがきと規則正しい食生活を送ることで、むし菌は予防できるのです。また、定期的に歯医者さんに行き、すみずみまできれいにしてもらうことも大切です。
Q7 永久歯はお母さんのお腹の中にいる時に作られる	【正解(正解率)】 ○ 51.6%	【解説】 乳歯も永久歯もお母さんのお腹の中にいる頃から作られます。生まれてから乳歯が生えてきますが、乳歯の下には、永久歯がスタンバイしている状態です。ですから、乳歯がむし菌になったりすることで、その下で控えている永久歯にも影響を与えてしまいます。むし菌を作らないように歯みがきをしっかりとしましょう。また、歯みがきだけでなく、歯にくっつきやすいおやつ等はミュータンス菌が大好き(エサになりやすい)するので、注意しましょう。
Q8 バイ菌が一番増えるのは就寝中である	【正解(正解率)】 ○ 99.2%	【解説】 就寝中は、むし菌の原因菌であるミュータンス菌やその他のバイ菌が増加します。その理由としては、唾液の量が減ることにより口の中の細菌や食物の残りが洗い流す「自浄作用」が低下するためです。寝る前に歯を磨かずして寝てしまうことで、お口の中はバイ菌でにぎわってしまうので、しっかりと歯を磨いてから寝ましょう。
Q9 徳川家康は入れ歯を使っていた	【正解(正解率)】 ○ 80.0%	【解説】 徳川家康が入れ歯をしていたことは歴史書にも記載があり、よく知られています。この頃の入れ歯はツゲの木を削って作っていました。江戸時代の入れ歯を作っていたのは仏師(仏像を作る人)で、お殿様や身分の高い人の求めに応じてツゲの木を彫刻して入れ歯を作っていたそうです。
Q10 ワニは何回でも歯が生え変わる	【正解(正解率)】 ○ 83.2%	【解説】 ワニには60~100本程の同じ形の歯が生えていて、歯が抜けてしまってもまた新しい歯が生えてきます。
Q11 歯を強くするフッ素成分が入っている飲み物はお茶である	【正解(正解率)】 ○ 47.2%	【解説】 お茶です。特にほうじ茶にはフッ素が入っています。このフッ素は虫歯予防に効果的で、虫歯菌の増殖を抑え、歯を溶けにくく強くする作用があります。
Q12 歯垢は虫歯菌の塊である	【正解(正解率)】 × 20.4%	【解説】 歯垢とはプラークとも呼ばれ細菌のかたまりなのです。実はこの歯垢が虫歯や歯周病だけでなく、心疾患や糖尿病など命に関わる病原因子になることもあります。
Q13 奥歯が一本なくなると咬む力は半減する	【正解(正解率)】 ○ 91.6%	【解説】 奥歯には大切な役割があるため、抜歯した後そのままにしておくとうちが半減するだけでなく、噛み合わせが悪くなる事で顔や体のバランスが崩れて様々なトラブルを起こすこともあります。